

ちづせき・函館

▽近頃、子供の虐待から悲惨な結果をもたらす事件が多い気がする。まるで犬や猫でも扱うようにとんでもない虐待だ。躰と称してぬいぐるみでも扱うように要らなくなれば捨てる。ニュースを見ると胸が痛くなる。腹が立ってくる。何とか成らないものか。私は、定期的にユニセフに募金をしている。なんか心が「ほっと」する。なんかいい事が無い。少し自分の気持ちを落ち着かせる時等は落ち着く気がする。どうせ無駄だと言う人もいるが、世界の子供が満足に水も飲めないでいる。栄養不良に明日の命も覚束無い、はしかの予防接種を受けさせれば助かった命。未来ある子供たちに少しでもチャンスを与えるべきである。その様な子供たちの親は必死である。当り前の事が狂い出している。▽当たり前の生活も最近の地震の多発で地方によって大変な事に成っている。しかし、東北震災を見てしまった私たちはアレから比べれば大した事ではない。とか、津波がないから大丈夫でしょう。等と心の中で思っていないだろうか。人の傷みに鈍感になっていないだろうか。自分の身に降りかかった時は、どうだろう。鈍感にはなっていないだろうか。訓練である。練習である。その中で常に進化して経費を懸けないでモノの修理に対しても機械の傷みを感じて点検・整備をしていきたい。当社の機械は、老人である。時々湿布したり骨折もするが、よく頑張ってくれている。今日もプラントは、痛い痛い稼働中。



〔社〕日碎協北海道地方本部

北海道碎石協同組合連合会

◇平成30年度通常総会

函館支部から理事・会員含め8名参加でした。ご苦勞様でした。来賓の協会本部、西村耕一会長は、「人材育成や経営コストの増加など、碎石業を取り巻く環境はまだまだ厳しい。そんな中、業界の使命となる安定供給には労働災害の撲滅が絶対的に求められる。事故だけは絶対に起こさないとこの自覚を持ってほしい」と述べた。

18年度の実業計画の柱

- ① 経営基盤の確立
- ② 資源開発の円滑化
- ③ 環境保全意識の高揚と採石跡地の整備・緑化の推進
- ④ 採石災害及び労働災害の防止
- ⑤ 交通事故及び過積載運行の防止
- ⑥ 若手経営者・後継者の研鑽活動に對しての支援
- ⑦ 情報の発信

◇報告・連絡

①平成30年度採石業務管理者試験日
10月12日(金)午前10時
各振興局で実施

願書受付は、8月22日～9月12日
受験手数料8千円北海道収入証紙
※本年度は試験前準備講習会は無し。
頑張ってください。

②平成30年度第一回「建設資材対策

北海道地方連絡会」が開発局で開催。
情報は、地方本部ホームページで確認
してください。

◇災害注意

熱中症について注意しましょう。

北海道ではと思っているかもしれませんが近頃の寒暖差は注意が必要です。熱中症は、暑い環境や体温が下がりにくい環境で起こる、体の異常のことをいいます。

▼水分をこまめにとる。塩分をほどよく取る。睡眠環境を快適に保とう。丈夫な体をつくろう。気温・湿度をいつも気に留めること。作業服を工夫しましょう。等の対応策で注意してください。

函館労基署より

18年4月の管内業種別労働災害発生状況(休業4日以上)をまとめました。土木業は、2名、建設業(木造建築)4人の計6人休業災害が発生しています。土木では、資材の片付けやクレーン整備中と言った現場外で発生している。会社場内でも緊張感を持って作業に当りましょう。

道南地区碎石協同組合・協会動向

◇理事会開催

6月5日 火曜日 11時に開催
一号議案

各委員会委員の委嘱について
総務委員会・流通委員会・緑化対策及び教育安全委員会の三委員会ほぼ全員引き続き留任とさせて頂きました。
ただ流通委員の瀧澤忠志会長から正和運輸(株)坂上忠義社長に変更です。
任期は、二年です。

二号議案

その他必要事項について

◇事務局より

①総会後の第一回理事会を開催しました。各委員が決まりました。其々積極的に情報交換をして活動して頂きたいと思えます。

②6月19日は、桔梗石材前社長の一周忌にあたります。早いものです。合掌



pixta.jp - 15187376